

2017年度九州若手数学賞（受賞理由の確認）2名（あいうえお順）

## 第6回九州若手数学賞受賞者と受賞題目・受賞理由

・神田智弘 九州大学大学院数理学府・博士後期課程2年

業績の題目：無限離散グラフ上のボーズ・アインシュタイン凝縮の関数解析的手法による研究

受賞理由：

神田智弘氏は、作用素環論の数理物理への応用に関する研究を行っており、グラフ上のボーズ・アインシュタイン凝縮の数学的な研究について優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会等においても積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。

・丹下稜斗・九州大学大学院数理学府・博士後期課程2年

業績の題目：結び目、力学系及び一般化された岩澤理論の三位一体的研究

受賞理由：

丹下稜斗氏は、結び目理論における幾何学的な岩澤理論の研究を行っており、Galois表現に付随する岩澤理論の結び目理論における類似の問題について優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会ならびにそれに準ずる研究集会においても積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。